

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	アゼリーファミリー保育園
-----	--------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「うごき」音と一緒にうごいてみよう！

<テーマの設定理由>

子どもたちは日頃の保育の中で、音楽が流れると体を揺らしたり手を叩いたりするなど、音に反応して体を動かす姿が多く見られる。また、楽器に触れると自分で音を鳴らして楽しむとする姿も見られる。

そこで、ベルなどの楽器やピアノの音に触れながら、音に合わせて体を動かすリトミックの活動を取り入れることで、音の違いやリズムを感じながら表現する楽しさを味わうことができると考えた。

音を聴くこと、鳴らすこと、体を動かすことを一体的に経験することで、子ども自身が音と動きの関係に気づき、主体的に楽しめる活動になるよう本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ・朝の会や自由遊びの時間にベルに触れ、音を鳴らして楽しむ
- ・ピアノの音に合わせて歩く、止まる、ジャンプするなど簡単なリトミックを行う
- ・ベルを持ってピアノのリズムに合わせて鳴らす
- ・音の速さや強さの違いを感じながら体の動きを変えてみる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ベル
- ・ピアノ
- ・音楽に合わせて体を動かせる広いスペース

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちはベルを手に持ち、ピアノの音に合わせてベルを鳴らしたり体を揺らしたりして楽しんだ。ピアノの音が速くなると体の動きも速くなり、ゆっくりした音になると体の動きもゆったりするなど、音の変化に合わせて動きを変える姿が見られた。

保育者が「リンリン鳴ったね」「今度はゆっくり歩いてみよう」など声を掛けることで、子どもたちは音を意識しながら体を動かし、音と動きの関係を感じ取る姿が見られた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ベルを鳴らしながら体を揺らしたり、友達の動きを見てまねをしたりする姿が見られた。「リンリン」「もう一回やりたい」など音を楽しむ声が聞かれ、ピアノの音が止まると体も止めるなど、音の変化に気づきながら動きを試す様子も見られた。保育者が一緒にベルを鳴らしたり体を動かしたりすることで、子どもたちは安心して活動に参加し、友達と音や動きを共有する姿にもつながっていった。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ベルやピアノの音に合わせて体を動かす活動を通して、子どもたちは音に興味を持ち、楽しみながら表現する姿が見られた。

音の速さや強さの違いに気づき、それに合わせて体の動きを変える様子も見られ、音と動きの関係を感じながら活動していることが分かった。

また、友達の動きを見てまねをする姿や、一緒に楽しむ姿も見られ、音や動きを共有する経験にもつながっていた。

今後も様々な楽器や音楽に触れる機会を取り入れながら、子どもたちが音やリズムを感じ、

6. 活動様子

